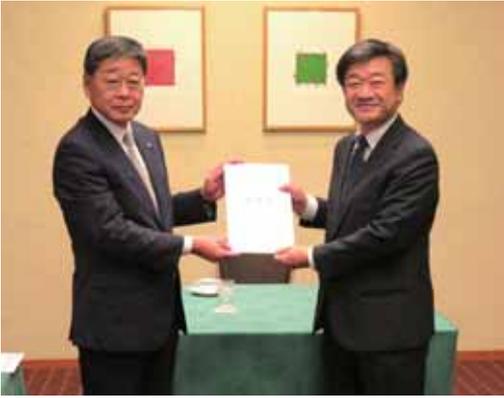


足立としゆき氏が当選
御礼挨拶に来られる

去る平成28年7月10日の第24回参議院議員通常選挙(比例代表)において、29万票を超える上位当選を果たしたPC建協推薦の足立としゆき(敏之)氏(元国土交通省技監)が、7月21日、菅野昇孝会長を始めとする当協会役員が迎える中、当選御礼のご挨拶に来られました。



要望書を菅野会長より足立氏へ



ご挨拶をされる足立氏

同氏は公共事業の安定的な確保と、魅力ある産業への再生を自らの役割とし、まずは大型補正予算における大幅な公共事業費の確保ができるよう力になりたいと意気込みを語っておられました。

最後に当協会からの要望書をお渡しして、補正予算、当初予算における公共事業費の大幅確保をお願いいたしました。

自民党、国土交通省に
要望書を提出

平成28年7月21日、自由民主党の政調会長、総務会長、幹事長、国土交通大臣、事務次官、技監、道路局長を始めとする幹部へ、菅野昇孝会長など協会役員より要望書を提出しました。

内容は、平成28年度補正予算や平成29年度公共事業予算などに関して要望するもので、当日は参議院議員・佐藤のおあき(信秋)氏にも同行いただき、代表して稲田朋美政調会長(当時、現防衛相)に直接手渡しいたしました。

提出した要望書の主な内容は以下の通りです。

◆平成28年度補正予算の早期編成について

今年度の公共事業予算の執行について、8割以上という大幅な前倒し目標となっていることを踏まえ、年度後半の執行を確保することで内需を拡大し経済を安定化させるため、大規模な補正予算(2兆円を超える公共事業費)の早期の編成を要望いたします。

◆公共事業当初予算の確保について

社会資本整備については、国土強靱化、防災・減災対策、老朽化対策などにおいて、ストック効果が最大限発揮されるよう、社会資本整備重点計画などに基づき、安定的・持続的な公共事業の推進により建設企業の経営の安定と活性化を図るため、平成29年度当初予算の大幅な増額確保を要望いたします。



稲田政調会長(当時、中央右)へ要望書を提出。最右は同行いただいた佐藤議員

九州地整から感謝状 熊本地震の災害復旧支援に尽力 (九州支部)

平成28年6月8日、PC建協九州支部の熊本地震の災害復旧に関する諸活動に対し、国土交通省九州地方整備局小平田浩司局長より感謝状が贈呈されました。

4月14日21時26分の地震(震度7、前震)の被害は限定的でしたが、4月16日1時25分の地震(震度7、本震)は広域的で多くの橋梁が被害を受けました。この日、会員各社の情報をもとに、被災状況マップ・通行止めマップ、資機材の保有状況の資料を作成し、九州地整に提出しました。

九州地整・NEXCO西日本・JRTTからは、早い段階で、会員各社に個別の橋梁の復旧に関する相談がありました。防災協定を締結していなかった熊本県・市町村には、PC建協から協力を申し出ました。

4月26日、熊本市からPC建協九州支部にコンクリート橋の調査依頼がありました。被災箇所数が多く、また復旧に専門的知識が必要とされることから要請を受けたものです。主要幹線82橋を含む310橋を会員各社に割り振り、4月27日から5月6日にかけて被災状況を調査し、復旧方法等について技術指導をしました。



小平田局長から感謝状を受け取る藤本支部長

なお、このとき使用した点検調査は、東日本大震災で用いたものを参考にしました。

5月になり現地調査が進むにつれ、県・市町村やコンサルタント会社から構造諸元や復旧方法等についての問い合わせが多くなり、九州支部事務局を窓口にして、各部会で個々に対応しました。

今回の地震においても、防災協定により初期対応を円滑に進めるとともに、PCの専門家という立場からコンクリート橋における損傷の部位やその大小、緊急性の有無、その補修・補強方法について助言等を行うなど、震災復旧の一翼を担うことができました。

各発注者との意見交換会始まる

7月27日の沖縄総合事務局を皮切りに全国の国土交通省地方整備局(地整)と北海道開発局の合計10の発注者と意見交換会が行われます。

8月末までの状況は、中部地整(7/29)、北陸地整(8/24)の3カ所が終了しました。またNEXCO中日本との意見交換会も7月29日に実施しました。

今後、残りの6地整および北海道開発局を順次開催する予定です。

会議では、PC建協の取り組みについての報告とPC建協からの提案を行い、各発注者と意見交換を行っています。地域に応じて一部内容を変えています。概ね以下の内容になっています。また、自由討議の時間を設ける場合もあります。

■PC建協からの報告

- ① 担い手確保のための取り組み
- ・ 会員企業の実態調査
- ・ PC専門技術者派遣・現場見学会の実施

② 生産性向上のための取り組み

- ・ これまでの取り組み
- ・ プレキャスト化を推進する優位性
- ・ プレキャスト化の現状と課題
- ・ プレキャスト化の取り組み方針

③ インフラ長寿命化のための取り組み

- ・ 資格制度の有効活用
- ・ グラウト・品質パトロールの取り組み
- ・ PC技術相談室
- ④ 災害対策体制
- ・ 熊本地震における災害対応
- ・ 橋梁建設中工事における緊急安全総点検の実施

■PC建協からの提案

- ① 担い手確保の推進
- ・ 工事量の平準化と安定的確保
- ・ 適切な工期設定
- ・ 完全週休2日モデル工事の試行拡大
- ② 生産性向上の推進
- ・ プレキャスト技術採用の拡大
- ・ 標準化による生産性向上
- ③ インフラ長寿命化のための取り組み
- ・ PC橋の維持保全事業での技術提案
- ・ 交渉方式の試行工事の発注
- ・ PC橋の維持保全事業での地域一括型発注工事の検討



中部地整との意見交換会

橋梁建設工事の緊急安全総点検を実施

PC建協は、平成28年5月20日から27日にかけて、施工中のPC上部工全工事に対して緊急安全総点検を実施しました。これは新名神高速道路の橋梁工事で4月22日と5月19日に相次いで生じた事故の第三者への影響が甚大であったことを鑑みて行ったものです。

今回は、国土交通省及びNEXCO3社の施工中のPC上部工全工事（工事作業中の新設橋梁工事、及び橋梁補修補強工事）に対して行いました。架設計画や仮設備、施工体制、第三者災害防止などを点検項目とした安全点検調査（チェックリスト）を作成し、PC建協各支部の安全環境部会委員、または現場の監理技術者・安全管理者が点検しました。対象数は148件で、5月30日に国土交通省道路局へ報告書を提出しました。

第6回PC建協業務報告会を開催

平成28年7月21日にホテルグランドアーク半蔵門で「平成28年度第6回PC建協業務報告会」を開催しました。

この報告会は「会員各社の共益の

確保」を目的として、協会活動の成果を会員全体にフィードバックするために実施しているものです。昨年に引き続き、支部や部会の活動を紹介するポスター展示、PC板等の模型展示も行いました。

報告会では国土交通省大臣官房技術審議官・五道仁実様の祝辞に続き、PC建協から次の4件を発表しました。

- ① 共同研究委員会報告「海洋構造物の耐久性向上技術に関する共同研究」海洋暴露試験30年の成果」
- ② PC建設業における担い手確保の取り組み
- ③ 熊本地震の対応について
- ④ 施工計画書作成の手引き『T桁橋・セグメントT桁橋編』の改訂について



業務報告会

その後、土木研究所 先端材料資源研究センターグループ長の渡辺博志様から「コンクリート構造物の耐久性に関する検討」と題した特別講演を行っていただきました。

参加者は、発注者をはじめ会員企業、賛助会員企業を含め、総勢180人となりました。また、報告・特別講演とも参加者から多数の活発な質疑応答が交わされました。

第24回PC建築技術講習会を開催

平成28年6月24日に港区の建築会館大ホールで「第24回PC建築技術講習会」を開催しました。

この講習会はPC建築技術の普及・発展を目的にその活用成果などを紹介するものです。講師はPCaPC工法で施工した建築物を担当した意匠・構造設計者に務めていただきました。

当日は官公庁・大学・設計事務所・ゼネコンなど269人が聴講しました。各講習の建築物、講師、演題は次のとおりです。

①安曇野市庁舎

内藤・小川原・尾日向設計共同企業体
 (株)内藤廣建築設計事務所 蛭田和則
 (株)KAP 荻生田秀之

「PCaと免震による質実剛健な庁舎」
 ②立川市立第一小学校 柴崎図書館・学童保育所・学習館

小西泰孝建築構造設計 小西泰孝
 鈴木健構造設計事務所 鈴木健
 (意匠設計・シラカンスアンドアソシエイツ)

「市松状PCaPCリブ付壁の構造デザイン」

③宮崎カトリック教会（聖堂棟）
 (株)エム設計 青柳明彦
 (株)星野建築構造設計事務所

「伝統的な協会の姿を現代の技術で」
 星野修一

④港区白金の丘学園
 (株)日建設計 勝矢武之、宇田川貴章
 「板状のPCaPC部材を用いた張弦構造」



建築技術講習会

現場見学会を開催

各地でPC建協支部が主催者となって学生や研究者対象の現場見学会が開催されました。

【北陸支部】

平成28年6月23日に富山県射水市の県道小杉婦中線「戸破高架橋」で現場見学会を行いました。

本橋は橋長128・6m、幅員8・39mの5径間連続PC中空床版橋です。

当日は富山県立大学工学部の学生と教員、発注者若手技術者など約20人が参加。また、伊藤始教授などから事業と施工に関する質疑応答が活発に行われました。



富山県立大学の学生など20人が視察した

【北海道支部】

7月27日に北海道横断自動車道朝里川橋（PC上部工）と天神橋（PC上部工）で現場見学会を実施しました。朝里川橋は橋長615・5m、幅員13・2mのPRC8径間連続ラーメン箱桁橋です。また天神橋は橋長681・0m、幅員12・26mのPC9径間連続ラーメン箱桁橋です。

当日は北海道大学工学部コンクリート研究組織「CREC」の研究者と学生30人が参加しました。朝里川橋では関係者から工事の進捗とPC技術の説明を受けた後、橋梁上部へ移動。参加者は高さ45mでの作業風景と構造物の巨大さに驚いた表情をみせ、工事の進め方や施工方法など熱心に尋ねていました。



北海道大学の学生など30人が視察した

PC技術専門家を派遣

PC建協では、多くの学生にPC構造に興味を持ってもらうことを目的にPC技術専門家を派遣しています。

【関東支部】

平成28年7月8日に東京都市大学で工学部の学生106人に講義を行いました。講義ではPCの概要と実績について写真と模型を使っての紹介や、コンクリートの性質とPCの特徴などの説明を行いました。



東京都市大学で行われた講義

【四国支部】

平成28年6月29日に香川大学で工学部の学生36人に講義を行いました。講義では国内外のPC施工事例や建設業界の現状と未来について現場体



香川大学で行われた講義

験談を交えて説明を行いました。

そのほか、今夏行った派遣は次の通りです。

開催日	支部名	学校名
6月 8日	関東	日本大学生産工学部
6月14日	関東	茨城大学工学部
6月21日	中国	広島工業大学工学部
6月24日	関東	足利工業大学工学部
6月28日	中国	広島工業大学工学部
7月 1日	関東	信州大学工学部
7月 5日	北陸	福井工業大学工学部
7月 5日	北陸	金沢大学理工学域
7月20日	関東	日本大学理工学部(土木工学科)
7月20日	東北	日本大学工学部
7月20日	関東	東洋大学理工学部
7月22日	関東	木更津工業高等専門学校
7月27日	関東	日本大学理工学部(交通システム工学科)
7月28日	九州	九州工業大学工学部
8月12日	中国	広島工業大学高大連携公開講座

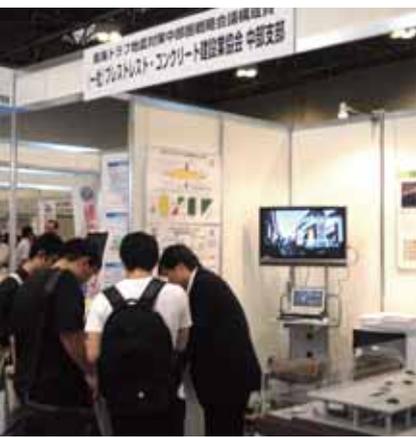
第4回中部ライフガードテック 2016「防災・減災・危機 管理展」に出展(中部支部)

「ライフガードテック」は、地震対策・ITシステム・労働安全衛生にかかわる製品・技術・サービスなどを展示・紹介するイベントです。南海トラフの巨大地震に備え、地域住民の防災意識向上と関連産業のビジネスチャンス拡大を通じて、防災と減災への取り組みを推進することを目的としています。

主催は名古屋国際見本市委員会、南海トラフ地震対策中部圏戦略会議(事務局：国土交通省中部地方整備局)が共催しています。

4回目を迎えた今年は平成28年6月2日と3日の2日間、ポートメッセなごや(名古屋市国際展示場)で開催され、126の企業と団体が出展、総来場者数は約2万人(前年比3176人増)と大盛況でした。

PC建協は、第1回から出展しており、今回は人工地盤の模型を展示してPRしました。



平成28年度EE東北'16に出展 (東北支部)

建設事業の新材料や新工法などの展示会「EE東北'16」が平成28年6月1日と2日に仙台市の夢メッセみやぎで開催されました。

今回は304の企業や団体が832の技術を出展し、総来場者数は過去最多の1万4200人に上りました。今回のテーマは「広げよう新技術、つなげよう未来へ」で、東北支部も「高耐久を実現するPC技術」と題して高耐久性PC桁に関するパネルなどを展示し、好評を博していました。また昨年から始まった「ドローン(UAV)競技会」には一般参加を含む計11チームがエントリー。延べ1800人が観戦する中で各チームは互いに操縦技術と計測技術を競っていました。



若い来場者から熱心な質問を受ける東北支部

施工計画書手引きを改訂



『施工計画書作成の手引き(「T桁橋・セグメントT桁橋編」(以下、本手引き)は、昭和51年に初版が作成され、昭和63年、平成7年、平成14年と改訂を重ねてきました。今回は14年ぶりの改訂(第5版)となります。

本手引きは、これまででも多くのプレストレストコンクリート技術者に愛読され、現場(「PCT桁橋」)における施工計画書作成の参考書として活用されてきました。引き続き、本手引きが現場における施工計画作成の一助となるよう以下の改訂がなされています。

- ・コンクリート標準示方書(2012年)、道路橋示方書(平成24年3月)、PCグラウト&プレグラウトPC鋼材施工マニュアル(2013年8月)に準拠

- ・仮設PC鋼棒の取扱い・点検について記載
- ・参考事例の見直し・追加

PCグラウト研修会のお知らせ

PC建協ではグラウト施工技術の向上を目的に「グラウト研修会」を開催しています。受講者には受講修了証を発行します。

会場・開催日は次の通りです。

福岡・平成28年8月25日(木)

福岡国際会議場

東京・平成28年8月28日(日)

ホテルグランドアーク半蔵門

金沢・平成28年9月3日(土)

金沢勤労者プラザ

名古屋・平成28年9月3日(土)

ウイルあいち

広島・平成28年9月15日(木)

広島市西区民文化センター

札幌・平成28年9月16日(金)

ホテル札幌ガーデンパレス

仙台・平成28年9月16日(金)

トラストシティカンファレンス仙台

大阪・平成28年9月16日(金)

建設交流館グリーンホール

各地でPC技術講習会を開催

PC技術に関する講習会が各地で開催されました。

北陸支部は、平成28年6月29日に新潟市の北陸技術事務所で開催された「道路構造物管理実務者研修(橋梁初



約50人が受講した橋梁工事スキルアップ講義



講義に集中する北陸地整や北陸地方の
県市町村の職員

級Ⅱ研修)」で、北陸地整の職員10人及び北陸地方の県市町村の職員7人の計17人に、コンクリート構造物の損傷、維持・修繕について講義しました。また九州支部では、7月7日と8日に宮崎市の宮崎県建設技術センターで開かれた「平成28年度橋梁研修(スキルアップ研修)」で、橋梁新設工事に携わる県市町村の職員10人、

及び設計会社の技術者39人の計49人に、PC橋の設計基本、架設、施工、及び各留意点を講義しました。

さらに8月24日〜26日の3日間に開かれた「橋梁初級Ⅱ研修」では九州地整の職員を対象に、コンクリート橋の損傷、補修・補強、及び耐震診断について講義しました。

第25回プレストレスト コンクリート発展に関する シンポジウム(北九州)開催の お知らせ

(公社)プレストレストコンクリート工学会は「第25回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム」を平成28年10月20日(木)と21日(金)の2日間にわたって福岡県北九州市の北九州国際会議場と西日本総合展示場・アジア太平洋インポートマート(ATM)で開催します。

シンポジウムでは特別講演会、一般学術講演会、企業等の技術展示等が行われ、わが国のPCの最新情報を得る絶好の機会となります。



シンポジウムのポスター

「第6回PC工事技能実習」 開催のお知らせ

(二社)プレストレスト・コンクリート工業協会は、平成28年10月18日(火)から21日(金)までの4日間、静岡県富士宮市の富士教育訓練センターにて、PC工事に関する技能力向上と次世代への継承を目的としたPC工事技能実習(第6回)を開催します。

実習は、測量学・PC緊張工・PCグラウト工に関する学科と実習により行われます。受講者にとつては、ディテンションング実習、PCグラウトの実物大試験体への注入実習、PC鋼材の破断実験など、貴重な経験を積むことのできる機会となります。



ディテンションング実習

編集委員会

上野 進一郎(編集委員長)、 櫻福 浄(編集副委員長)、
鈴木 裕二、 吉山 誠之、 竹本 伸一、 的場 純一、 内野 英宏、
松嶋 憲昭、 高松 正伸、 石井 一生(特別顧問)

編集幹事会

手賀 由成(幹事長)、 廣部 永隆(副幹事長)、 白石 紀之、 久我 誠志、
俵 綾子、 南 浩郎、 小谷 仁、 大谷 圭介、 木下 拓三、 吉田 健治、
太田 誠、 清水 郁子、 荒畑 智志、 寒川 勝彦、 西永 卓司

編集後記

北海道新幹線の開業を機に、函館〜洞爺湖方面へ取材に行ってきました。道南の新風を感じて頂けましたでしょうか。取材の前週に発生した地震の影響を心配しましたが、天候にも恵まれ雄大な風景を写真に収めることができました。取材の途中で立ち寄ったトラピスト修道院では、自家製のソフトクリームを堪能しました。濃厚でありながらサッパリとした後味、スプーンの代わりに添えられたトラピストクッキーと一緒に口にすれば美味しさが倍増、お薦め一品です。また、「PCのニューフェイスたち」では、平成27年度に誕生したPC構造物から15作品を厳選し、施工時のエピソードとともに紹介しています。PC技術をより身近に感じて頂けたら幸いです。(荒畑)